

21 2024年度コンペ等受賞者等一覧

■第2回 学生のための環境デザイン設計競技「周りの環境を良くする建築」『優秀賞』

「醬で彩る一流動的な自然を取り込んだ小豆島集落におけるバイオフィリックデザインの提案一」 丁子紘亘 (未包研究室)、安藤陸都、中岡 和貴、泉貴広 (榎橋研究室)



■第2回 学生のための環境デザイン設計競技「周りの環境を良くする建築」『入賞』

「雪しろ水は廻りゆくー古来の知恵を生かした季節を超える暮らしの再考ー」 宇野 耀士、柳内あみ (未包研究室)、山口沙礼、XUE XIAOYI (榎橋研究室)



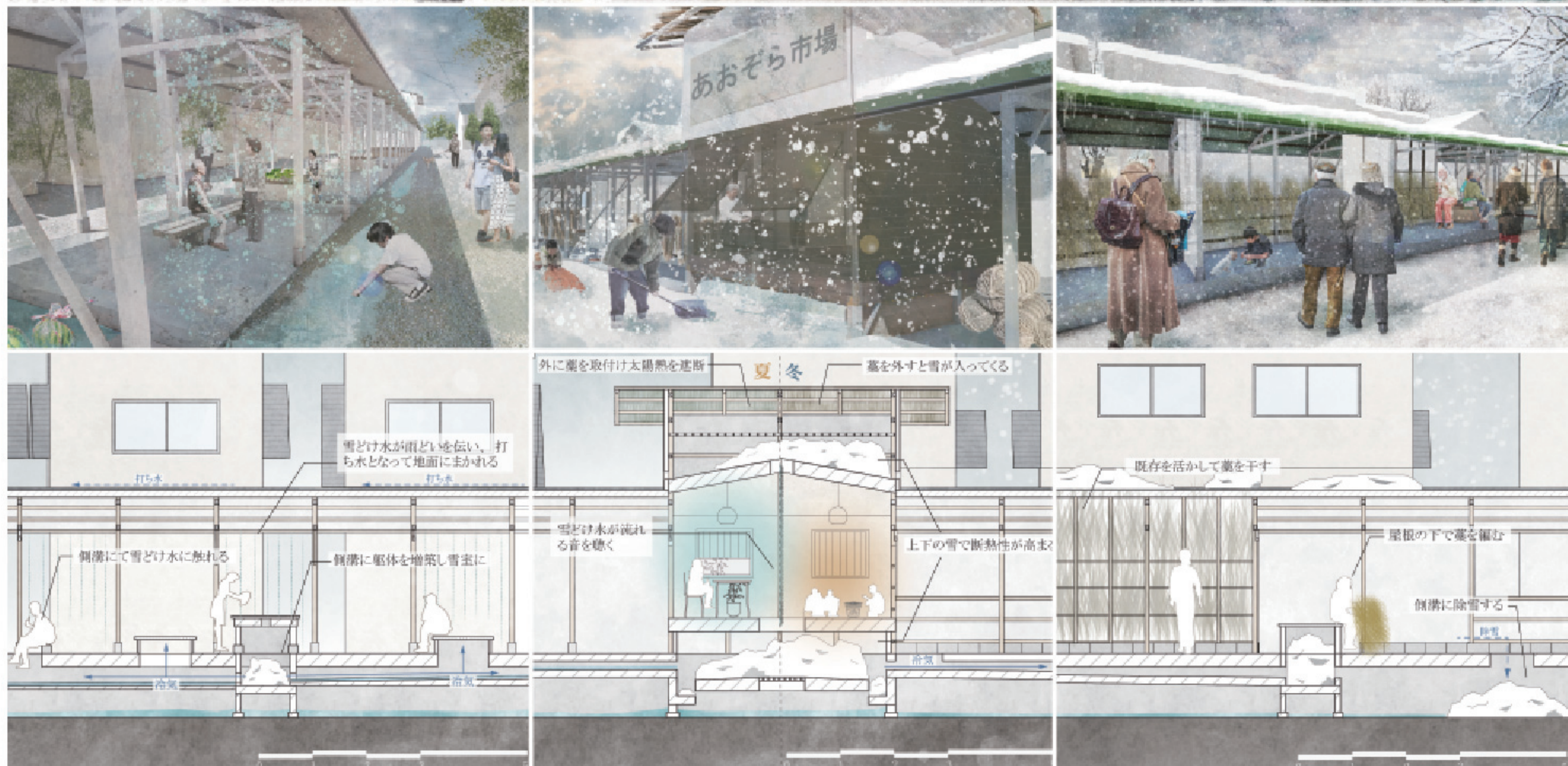
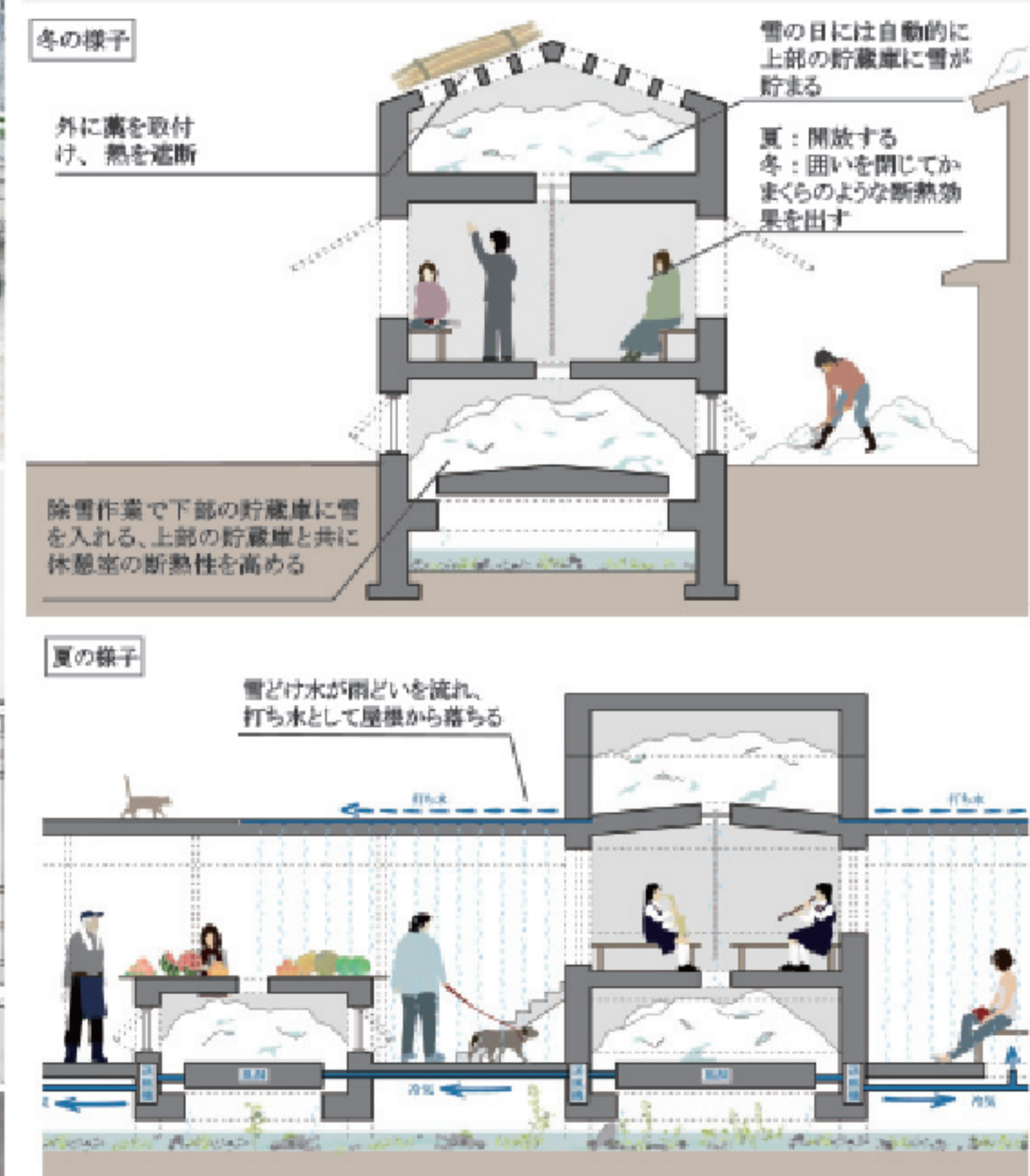
1. 建築の変化 空調設備、断熱材の発達の影響

	夏	冬	特徴
従来			自然を選択的に取り入れた自然と共生した建築
現在			内に閉じ、身体感覚が均一化された建築

2. 地域の人と水の関係性 古来の知恵：雪室



3. 提案



■木の家設計グランプリ「住み続けられる家—古き良きものの再生」『100選』
「水を通す家」宮田耕太郎、菅原慎司、松下敦紀（栗山研究室）



水と暮らす豊かさの中で落ち着きのある暮らし

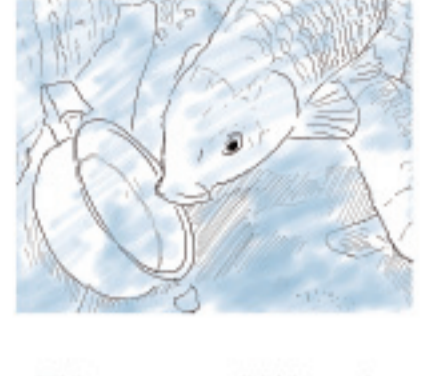
生活のふるまい

炊事・野菜を洗う
食材を冷やす など



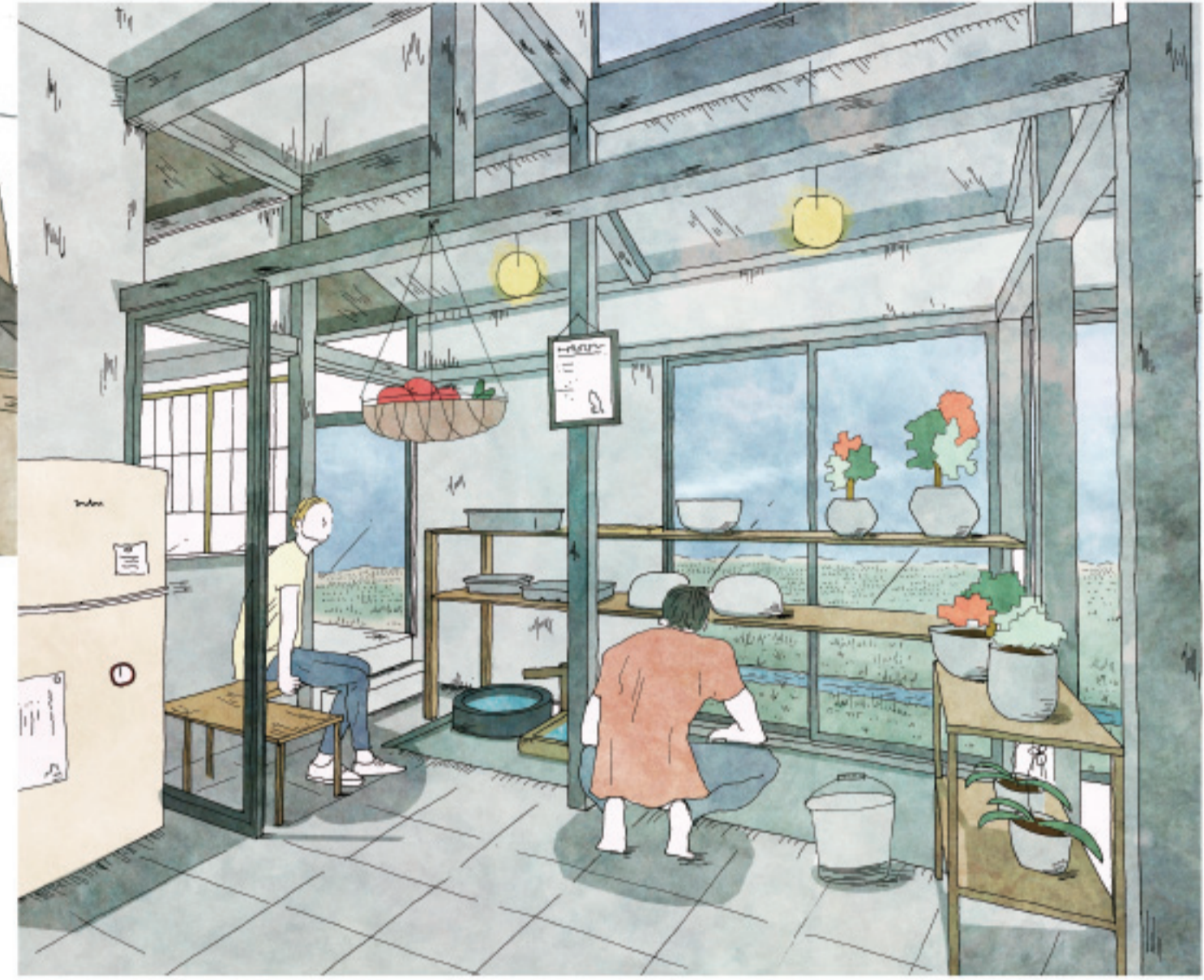
趣味のふるまい

鯉を飼育し、水を浄化
植物を育てる など



地域のふるまい

子供の遊び場
小川の清掃活動 など



家族構成：五人暮らし二世帯住宅

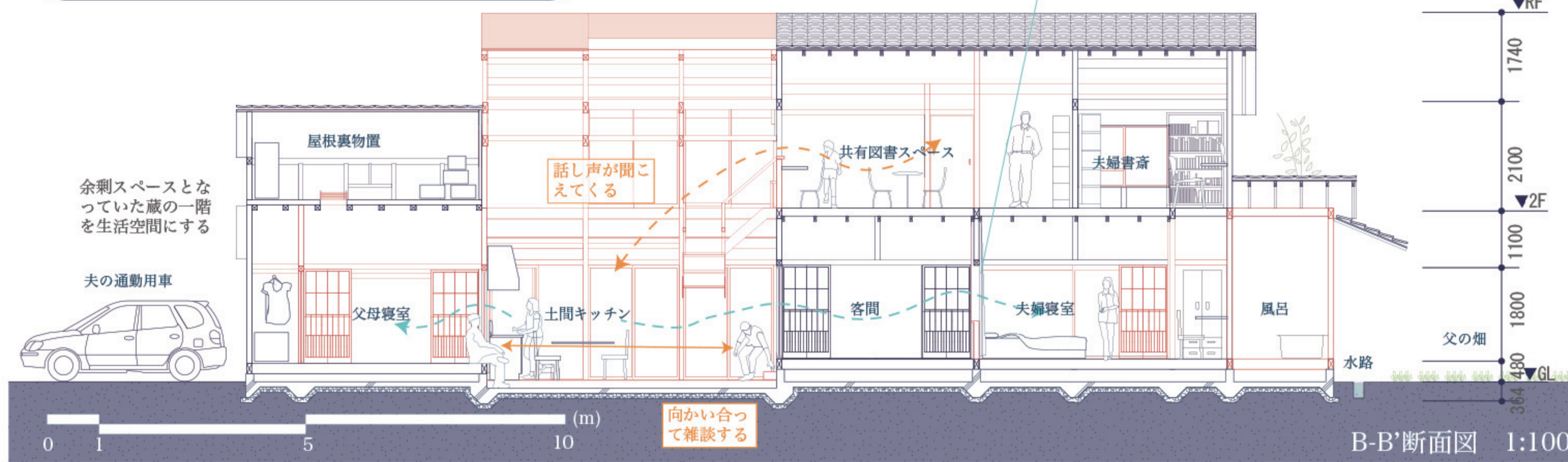
父は生水の郡委員会での町役、家の前の畑で農業をしている。母は織物を趣味として家でやっている。

母 父 夫 息子 妻

将来の親の介護、息子に自然を感じて育ってほしく、移住。夫は車で通勤、妻はバイクで働いている。

既存の瓦屋根と高さ、色味をそろえて日本屋らしさを取り入れる

カーテンでの緩やかな仕切り、流れる水の音がすかすかに聞こえる



■第18回長谷工住まいのデザインコンペティション「集合住宅の|新しい|あられ」『佳作』
「舞いめぐる風と共に」丸山泰生（明石工業高等専門学校）、関川珠音（B3）

06:00 起床

心地よい風を感じて目を覚ます。運動者が前を通る。朝の穏やかな風を感じる。

014:00 天気は雨

室内でも風を感じて過ごす。布の色が変わることで雨知らせる。船走したり、ソファでゆっくりする。外では、雨宿りをする人が。

020:00 風呂上り

常に風が通る共有空間で涼む。近くの住宅から見ると中の光がぼんやりと見える。

舞いめぐる風と共に

かつての日本の暮らしは外部の変化に対して敏感に反応し、季節や時間に応じて変化する風の名前を付け、積極的に取り入れる事で、建築のカタチに変化をもたらしてきた。しかし、現在の都市空間は、閉鎖的な場所が多く、風が逃げてしまっている。そこで一度、「風」と向き合うことを考え、風を暮らしに取り込むことで、集合住宅の快適性を高めながら、人のつながりを生む。まちには、風で揺れ動く建物の表面によって、天気や気温、人の活動を発信する。

花信風、初夏、御祭風、雲雀東風...
かつては風を認識し、暮らしと密接であった
再び風と共に生活をしていく

敷地北側の広場スペースは商店街と繋がる
布状の動く素材を取り付けることでイベントを行っていることを伝える

敷地東側にあるカフェやコワーキングスペースとなる集いのスペース
風が布を動かすことで道を通る人の興味を引く

雨水が風場によって集められ、下の地面へ貯めることで出来た「水庭」
水は植物を育て、観水空間は遊び場となる

0. 「気象的」な存在としての建築

建築は人の身体や体調といったミクロな事柄から、都市的なマクロな視点に至るまで風・光・熱を変化させ、確立にも動かせる力を有している。そこで、都市に「気象的」な影響を及ぼせる建築を目指す。本提案は、集合住宅での生活が風を通じてまちへとあられ発信していくことを考えた。

1. 背景 - 風との関わり希薄化 -

かつての日本の伝統的な住居は、開口部に置かれた開放感あるカタチをしており風や光を内部に取り込み、積極的に活用していた。しかし、現在のまちは、プライバシーや室内の適温維持を重視した閉鎖的な建物が並び、風を遮り、ビル風などの人々に悪影響を及ぼす現象を生み出している。風との新たな関係性が求められている。

2. 風の持つ性質・機能

風は、周囲の環境によって容易に変化するものであり、時間や温度などが違えば性質が変わり、動き方は、抵抗の少ない方へと流れていく素直な性質を有している。また、風には「両面性」があり、これは風が人間にとって利活用対象となるのか、脅威となるのかという対照的な性質のことである。このような特性を暮らしに取り込むことで、快適で変化のある生活が望める。

変化する風 風の両面性

4. 提案 - 風と共に暮らし、風によってまちへ生活を発信する -

ここでは、風と共に暮らし、住人は、取り込まれた風を生活に利用し、通る場所も風に合わせて移動する。まちに対しては、風に合わせて変化する「動く素材」によって建物の表面が変化し、天気・気温・人の活動などを発信する機能を持つ。この集合住宅は、風を纏って華やかに揺れ動くランドマーク的な建築となる。

I: 風を取り込み、まちへ流すカタチ

この建築は、風を流動する仕組みを有しており、風をまわらから取り入れて居住空間を通り「風場」と移動し、まちへと流す。

II: 風を感じ可視化する「動く素材」

集合住宅の開口部には、風によって揺れ動く「動く素材」を取り付け、風が吹くことで建物の表面が動き、風を可視化する。また、住人の生活や天気といった「情報」を視覚的にまちへ発信する。

III: まちへ通したあられ

敷地北、商店街、公園、駅まで伸びる道路など性格の違う空間に置かれるため、それぞれにあった、機能と「動く素材」を配置している。

動く素材：天気や住人の様子を見守る風を揺らめかせることで外へ伝える

動的な要素によって建物全体では時間や天気に応じて変化する

建物が「生活や自然の変化を伝える媒体」となり、都市と情報を共有する

建物の表面は人の暮らしを表現し、風で動くことで都市へと発信する

開口部は他人の暮らしを映し出すスクリーンとなる

風場は都市のランドマークとなり、まちに新たな秩序を与える

断面パース 00336

○卒業設計

■JIA 近畿支部学生卒業設計コンクール

『審査員特別賞』柳内あみ(A72)

『佳作』泉貴広(A72)

■せんだいデザインリーグ2024 卒業設計日本一決定戦

『100選』柳内あみ(A72)

■第54回毎日・DAS学生デザイン賞

『建築部門賞』宇野耀士(A72)

『佐野正一賞』延近佑澄(A72)

『入選』泉貴広(A72)

『入選』丁子紘亘(A72)

『入選』山口沙礼(A72)

■赤れんが卒業設計展2024

『100選』柳内あみ(A72)

『100選』丁子紘亘(A72)

■Diploma×Kyoto'24

『DAY1 末光賞』宇野耀士(A72)

■GOOD DESIGN NEW HOPE AWARD 2024

『グッドデザイン・ニューホープ賞』宇野耀士(A72)

■第15回アーバンデザイン甲子園

『入選』菅原慎司(A72)

○研究発表・その他活動業績等

学外での受賞

■2023年度日本造園学会賞（設計作品部門）

「南町田グランベリーパーク」福岡孝則（東京農業大学教授）、槻橋修（神戸大学大学院教授）

■前田記念工学復興財団 前田工学賞

「伊丹潤の建築思想および建築作品に関する建築意匠論研究」後藤沙羅（神戸大学大学院助教）

■第59回東京都公園協会賞<<論文部門>>優秀賞

「日本における公園墓地の成立経緯とその計画への欧米墓地の影響」宮本美咲輝(A71)、中江研（神戸大学大学院教授）

■前田記念工学復興財団 山田一字賞

「過冷却を考慮した多孔質建築材料の凍結融解過程における熱水分挙動と変形および破壊のメカニズムの検討」福井一真（神戸大学大学院助教）

■空気調和・衛生工学会 第38回復興賞学生賞

田中琴絵(A72)

■2024年度日本建築学会 近畿支部研究発表会 優秀発表賞

「不完全共鳴器の結合効果を用いた音響メタサーフェスによる1/3オクターブバンド準完全吸音体」木村祐希(A72)

■空気調和・衛生工学会 近畿支部学術研究発表会 奨励賞

「水族館内の飼育用海水槽で発生する海塩粒子の室内における拡散挙動数値流体解析による海塩粒子の行方の推定」宇佐美恒(A71)、高田暁（神戸大学大学院教授）

■2024年度日本建築学会大会（関東）学術講演会 環境工学委員会 若手優秀発表賞

「マイクロスリット共鳴器を埋め込んだメタポラス吸音体の理論モデルの開発」藤井倫太郎(A71)

■2024年度日本建築学会大会（関東）学術講演会 環境工学委員会 若手優秀発表賞

「多孔質建築材料の平衡含水率測定に関する研究 その2 試験体乾燥時の環境が平衡含水率の測定結果に与える影響」正田康輔(A72)

■2024年度日本建築学会 近畿支部研究発表会 優秀発表賞

「梁端ウェブ接合部に設けられるめっき抜き孔に発生する溶融亜鉛めっき脆化割れに与えるめっき浸漬速度の影響」小林幹宗(A71)、田中剛（神戸大学大学院教授）、朴一樹(A70)

■日本建築学会情報システム技術委員会 情報・システム・利用・技術シンポジウム 若手優秀発表賞

「地震被害想定における機械学習の適用に関する研究—揺れ・地震火災による建物被害を対象として—」西岡颯大(A72)

■2024年度日本建築学会大会（関東）学術講演会 鋼コンクリート合成構造部門 若手優秀発表賞

「鋼・コンクリート機械的ずれ止めを用いたCFT柱継手の引張実験（その2）Fc45の場合」赤川稜昌(A72)

■2024年度日本建築学会大会（関東）学術講演会 材料施工部門 若手優秀発表賞

「半自動高電流埋もれアーク溶接を用いた梁端接合部の塑性変形能力に関する研究 その1 溶接施工試験」荒川健次(A71)

■2024年度日本建築学会大会（関東）学術講演会 材料施工部門 若手優秀発表賞

「半自動高電流埋もれアーク溶接を用いた梁端接合部の塑性変形能力に関する研究 その2 載荷実験」武智亮太(A72)

学内での受賞

■神戸大学建築卒業論文賞（計画系）大賞

「近現代の炬燵について—明治期から昭和期にかけての炬燵の移行過程—」土中梨央(A72)

■神戸大学建築卒業論文賞（計画系）佳作

「地域文脈の観点からみた空き家リノベーションの発展構造とまちづくりに関する研究—神戸市垂水区塩屋を対象として—」石川瑞己(A72)

■神戸大学建築卒業論文賞（環境系）大賞

「測定調査に基づく地下鉄ホーム空間の熱環境改善計画に関する研」入江優有(A72)

■神戸大学建築卒業論文賞（環境系）木南賞

「背後空間効率化による薄型通気性膜吸音体アレイに関する研究」武田知大(A72)

■神戸大学建築卒業論文賞（構造系）大賞

「MRダンパーを用いたセミアクティブ制御の数値シミュレーション精度向上に関する研究」小谷陵(A72)

■神戸大学建築卒業論文賞（構造系）木南賞

「3次元フレームモデルの動的応答解析に対する統計解析を用いた構造特性の分析手法に関する研究」高田実優(A72)

■複雑熱流体工学研究センター プレゼンテーション賞

「省エネルギー性と入浴時快適性の向上に向けた浴室内の窓配置の検討」宇佐美恒(A71)